

# 総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 2	快適な生活空間に必要な施設環境を整える	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等			
事業名	生活排水処理事業	事業区分	②
細事業名	農業集落排水事業		①新規 ②継続 ③その他 ( )
事業主体	市	実施形態	①
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	①
各種の計画への反映 (=根拠計画)	生活排水処理基本計画	事業ID	④その他 ( )
			22003

3. 事業の内容等			
<b>事業の背景</b> 農業振興地域において、生活排水を未処理のまま道路側溝や用排水路等に排水している地域の集約的な生活排水処理を行い、生活環境及び河川環境の向上を国・県・市が推進している。	<b>補助事業</b>	名称	農業集落排水整備推進交付金
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/
		起債の種類	① 資本費平準化債 ② ③
<b>事業の目的及び対象</b> 【目的】 生活排水を適切に処理し水質の改善を図ることで、河川の水質改善を図る。  【対象】 三重町上田原・清川町砂田・緒方町（馬場、中央、原尻、知田、井上）	<b>事業概要</b> 緒方町5地区・・・処理計画人口4,324人 三重町上田原・・・処理計画人口 300人 清川町砂田・・・処理計画人口1,640人 農業集落排水整備推進交付金は事業推進に対する県交付金で事業費の1/10を10年間分割交付	<b>前年度の評価</b> <b>評価結果に基づき見直した内容</b>	
	E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金	168,550						
	県支出金	1,401	1,401	1,401	1,401	1,401	1,401	
	地方債	173,000	16,400	28,500	35,100	52,700	69,300	
	その他	12,168	5,707	4,234	19,163	13,278	18,505	
	一般財源	158,456	138,354	156,303	137,507	145,291	124,231	
	計	513,575	161,862	190,438	193,171	212,670	213,437	
決算	国庫支出金	166,370						
	県支出金	1,401	1,401	1,401				
	地方債	171,000	16,400	27,500				
	その他	12,166	5,721	13,146				
	一般財源	158,420	134,199	145,155				
	計	509,357	157,721	187,202				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 処理人口 2,405人	【実績】 処理人口 2,984人	【実績】 処理人口 3,151人	加入促進を強化する必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値										
活動指標	農業集落排水への加入者数									
効率指標	前年度決算額 > 当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。									
成果指標	処理人口								単位 人	
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考			
種別	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口			
目標値			6,264	6,264	6,264	6,264				
実績値	2,405	2,984	3,151	3,200	3,250	3,300				
達成率			50.3%	51.1%	51.9%	52.7%				
備考										

# 総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	環境問題が重要視されている昨今、本事業のような集合処理による適切な生活排水処理対策及び衛生環境の向上を図る必要があるため。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	施設、機械器具の維持管理は委託によるものであるが、使用料の調定、その他全般業務は行政が実施しなければならないため。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	専門的技術、資格を有した者が行うこととなっている施設の維持管理に係る業務を委託により実施しているため。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	計画処理区域内における処理人口が約50%となっているため。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	農業集落排水事業に係る予算は、施設の維持管理に係る経費であり、年度ごとに一定の予算が必要なため。				
人体 員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	本事業を含め公共下水道事業・合併処理浄化槽整備事業を兼務で実施しているため。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	水質保全及び衛生環境を保つためには、今後も継続して、施設の適切な維持管理に努めなければならないため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部長	課長	班長	担当者	内線 2361 E-mail @bungo-ohno.jp	